



環境情報センター

環境情報センターは今年、開館5周年を迎えました。



環境情報センターは、環境情報の提供・発信および区民や事業者、環境活動団体の交流、環境活動の拠点として平成25年6月に開館しました。

2つの研修室と環境活動登録団体の交流室、参考図書のコーナーを備え、環境活動の場として利用できます。展示コーナーでは月ごとに企画展としてパネルや模型など

を展示しており、気軽に環境情報に接することができます。また講座やワークショップ、登録団体の発表会など、環境問題への関心を深め、活動の輪を広げていくためのさまざまな事業を1年を通して実施しています。

今回は、環境情報センターで行われている事業の一部をご紹介します。



環境情報センターが入る東京スクエアガーデン

いきもの観察会

自然観察の講座を場所や季節を変えて行っています。いきものの知識を深めながら季節の移り変わりを感じることでできる人気イベントの一つです。



〈今年度の予定〉 10月頃 浜離宮自然観察会
11月頃 いきもの発見会(石川島公園を予定)

センターサークル

環境情報センターに登録している団体が結成した有志のサークルです。団体同士の情報交換などにより交流を深めるとともに、環境活動フェスや環境活動発表会など登録団体向け事業を実施しています。



環境マスタークラブ / 中央エコキッズ

環境情報センターには独自の環境活動クラブがあります。「環境マスタークラブ」は18歳以上、「中央エコキッズ」は小学生が対象です。会員限定または会員優先の講座・イベントもあり、会員の方は楽しみながら環境に関する知識を深めています。

もりもりフェスティバル

夏休みの親子向けイベント「もりもりフェスティバル」は今年で5回目の開催となります。期間中は施設全体を開放し、環境・エコに関する講座やワークショップを日替わりで行います。夏休みの自由研究の課題探しにもおすすめのイベントです。



〈今年の開催期間〉
7月25日(水)～
7月31日(火)

環境情報センターへのアクセス



▲施設内の様子



▲研修室

●問い合わせ先 環境情報センター ☎ (6225) 2433 HP <http://eic-chuo.co.jp/> 所在地 中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階



中央区の森だより

「中央区の森(数馬地区)」で自然環境調査を行っています!

区では、平成29年4月から「中央区の森(数馬地区)」において、自然環境調査を行っています。

平成29年度は合計13回調査を実施しました。今回は、調査結果の中から四季ごとに1枚ずつ植物や風景を紹介します。



中央区の森にお越しの際は、ぜひ公共交通機関をご利用ください。



はる ヤマトツツジ



赤い花は、春の中央区の森の中でひときわ目立って、きれいなんじゃよ



なつ ギンリョウソウ



銀竜草と書くぞ。なんとこの植物には葉緑体がないんじゃ! だから全体が真っ白なんじゃぞ



あき イロハモミジ



秋が深まるにつれ、中央区の森でも美しい紅葉が見られるのじゃ



ふゆ 雪とあしあと



雪の上に残ったあしあとじゃ。どんな動物がいるのか想像するとわくわくするのう



中央区の森協定地を拡大しました!

森林の保全活動をより一層推進するとともに、事業のさらなる充実を図るため、檜原村内の矢沢周辺にある村有林約4.8haを「中央区の森(矢沢地区)」とし、村と森林保全

活動に関する協定を締結しました。檜原村本来の自然豊かな森づくりに向けて保全活動に取り組んでいきます。



矢沢地区林内の様子

●問い合わせ先 環境推進課環境活動係 ☎(3546)5654

中央エコアクト(家庭用)参加者募集中!!

中央エコアクトとは、家庭における環境活動により、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を減らしていく仕組みです。中央エコアクトに取り組むことで、電気やガスなどのエネルギー使用量を減らし、光熱水費の削減を図ることができます。

認証の特典

- ・認証特典商品(エコグッズ)
- ・省エネルギー機器等導入費助成制度の上乗せ助成



▲エコグッズ見本

中央エコアクトに参加された方の工夫した取り組みや省エネルギー対策の一部を紹介します

- ・お互いに声掛けをして取り組むことで、毎日続けられた。
- ・家族みんながなるべく同じ場所で生活し、エネルギーの無駄使いをしないよう努めた。
- ・電気ポットの保温時間を短くし、必要時に沸かすようにした。
- ・照明のスイッチなど、気に掛けやすい場所にチェック表を置いた。
- ・緑のカーテンのためにゴーヤを育て、収穫を楽しんだ。
- ・電球を2か所LEDに交換した。

中央エコアクトに参加された方の感想

- ・1日当たり約20%も電気の使用量が減少していることが分かり、一人一人気を付ければ簡単に省エネができたと思った。
- ・日頃、節電をあまり意識していなかったため、今後は意識して、取り組みを継続していけるよう努力したい。
- ・電気の使用量がとても下がってびっくりした。毎年の気温によって暖房の使用率が変わるかもしれないので、これからも省エネを続けてみて違いを比べていきたい。

●問い合わせ先 環境推進課温暖化対策推進係 ☎(3546)5628

取り組みの流れ



親子で取り組む場合は、チェックを付けてください。

取組項目	父	母	子ども	家族全員
チャレンジスコア	1点	1点	1点	1点
スタート4月1日	○	○	○	○

他に実施したい項目があれば、こちらに記載してください。